

NewsLetter

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184 <https://www.kokudo.or.jp>

Japan Geographic Data Center
公益財団法人
 国土地理協会

2022年の地名変更情報 あんな地名 こんな地名

News Letter 春号では毎年、1年の間で新設された地名をご紹介しています。今回も興味深いと思われる例をいくつかあげてみます。

北海道北広島市「Fビレッジ」

2023年3月に開業する「北海道ボールパーク F ビレッジ」の所在地が地名になりました。「北海道ボールパーク F ビレッジ」は、北海道日本ハムファイターズの本拠地となる新球場「エスコン フィールド北海道」のほか、レジデンス、キッズエリア、農園エリア、プライベートヴィラ、商空間、グランピング・体験型アウトドア施設などで構成されています。アルファベットの「F」には「Fighters」の頭文字の他、「Fan」「Future」「Forest」「Fun」「Fusion」など様々な単語の意味が込められているそうです。

北海道虻田郡俱知安町「ニセコひらふ一条～五条」

世界各国から観光客が訪れる国際リゾート地に付けられました。この地域は現在もコンドミニアムや別荘が建築中で、今後も建物は増加傾向にあり、住居表示を実施し新しい地名にすることで目的地を誰にでも分かり易いものにし、利便性の向上や安全・安心な国際リゾート地としての基盤の強化をめざすそうです。「ニセコひらふ」という名称は、新町名に関するアンケートの結果、短く、簡単で国際リゾート地としてよく知られている、シンプルでおおよそ地所がイメージできるなどのことから選ばれました。

北海道河東郡音更町「なつぞら」

音更町が進める「農畜産物や地場産品などの販売や食に接する機会を増やすため、新たに魅力を発信する拠点づくり」を目的に、「道の駅おとふけ」の移転オープンに合わせ、周辺の地名が「なつぞら」になりました。音更町では、広大な農地と豊かな土壌、恵まれた気候を活かし、さまざまな農畜産物が生産されています。この豊かな農畜産物をもたらす恵みとして、「十勝晴れ」は欠かすことのできないもので、特に夏の真っ白な雲と真っ青に澄み切った空のコントラストは美しく、見る者を圧倒します。この美しく、大いなる恵みをもたらす空への想いを連想させる「なつぞら」を強くアピールし、「道の駅おとふけ」がその「ふる里」となる意気込みを表現しています。

茨城県稻敷市「君賀の森（きみがのもり）」

公益財団法人茨城県開発公社と稻敷市が共同で整備を進めている稻敷工業団地に付けられた地名です。「君賀」の由来はこの周辺が以前は稻敷郡君賀村だったことから、現在でも公共施設などにその名前が残っています。

千葉県茂原市「ゆたか」

茂原市のほぼ中央にある、もとは平坦な農地だった地区を区画整理して誕生しました。未来そして明日を担う子供たちが笑顔と希望にあふれ、のびのびと心豊かに成長して欲しいと「ゆたか」と名付けたそうです。

千葉県四街道市「たかおの杜」

神社の名称に由来して付けられた地名です。この区域には、鎮守として古くから地域の人たちの心のよりどころとして親しまれてきた「たかおかみ神社」があり、地域住民から親しみを込めて「たかお」と呼ばれていた歴史があります。そのことから、地域のシンボルである「たかおかみ神社」と、その鎮守の杜が変わらぬ姿で残る縁豊かな街をイメージして「たかおの杜」と名付けたそうです。

兵庫県三田市「学園上ヶ原（がくえんうえがはら）」

三田市には1995年より関西学院大学神戸三田キャンパスが立地しています。三田市では、産官学地域連携事業を推進し、「学びの都（まち）三田」まちづくり協働宣言を行うなど、地方自治体と高等教育機関等の連携を深めていますが、三田市と関西学院大学が更に連携を深め、同大学が将来にわたって地域振興に寄与することを確かなものにするため、同大学の申し出も踏まえ、神戸三田キャンパスの所在地の地名を「学園上ヶ原」としたそうです。

山口県山口市「小郡明治（おごおりめいじ）1・2丁目・小郡大正町（おごおりたいしょうまち）」

山口市にあるJR新山口駅周辺の小郡地域は、「明治通り」「大正通り」「昭和橋」「小郡平成町」など、通りや住所に元号の名が使われています。昨年の住居表示で新元号の「小郡令和」が住所として誕生しましたが、ここに新住所として「明治」「大正」が加わりました。

(1) 試験日 : 2023(令和5)年6月18日(日)予定

(2) 試験時間／問題数

地図地理検定(基礎) : 13:30~14:20・全問択一式、100点満点

地図地理検定(専門) : 15:00~16:00・択一式15問、記述式9問、100点満点

(3) 実施都市 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

(4) 受検資格 どなたでも受検できます。年齢等、一切の制限はございません。

前回の問題は
ココでチェック!

地図地理検定

検索

受検料

基本受検のほかにリピーター割引、学生割引、シニア割引等があります。5名以上なら団体受検もできます。

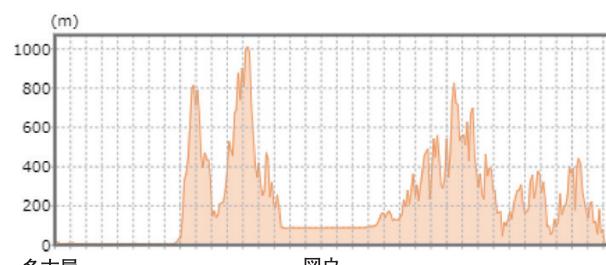
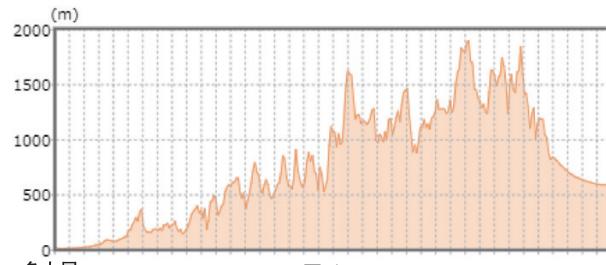
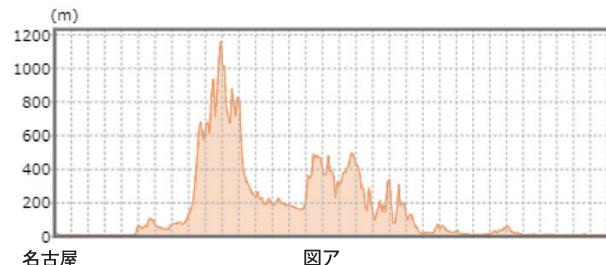
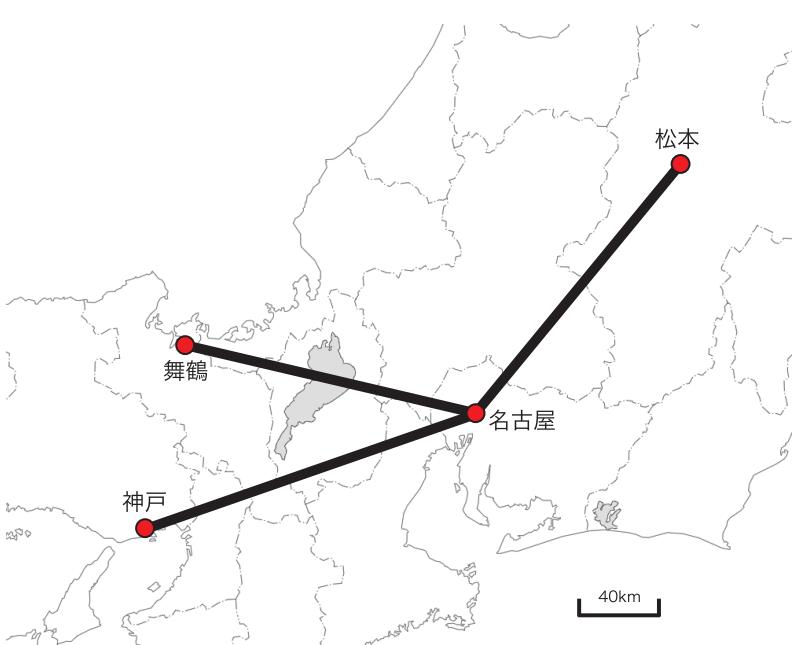
	地図地理検定(基礎)	地図地理検定(専門)	基礎・専門の併願
基本受検料	3,000円	4,000円	5,000円
各種割引	2,000円	3,000円	4,000円

詳しくは地図地理検定ホームページ(<https://www.jmc.or.jp/keihatsu-kyouiku/chizukan/>)をご覧ください。

地図地理クイズ!

(第36回地図地理検定より出題)

問 右の図ア～ウは、名古屋を始点に松本、舞鶴および神戸を結んだときの高低差を、地理院地図の機能を用いて作成した地形断面図です。名古屋から各地を結んだ線と、図ア～ウとの正しい組み合わせを右下の①～⑥のうちから1つ選びなさい。ただし、地形断面図の横軸の目盛間隔は図ごとに異なります。



【解説】3つの断面図の中から、すべての地図が同じ高さで描かれており、各点の標高が正確に反映されています。各点の標高を比較すると、松本は約1000m、舞鶴は約400m、神戸は約200mです。地形断面図では、各点の標高が正確に反映されるため、各点の標高を比較することができます。また、各点の標高が正確に反映されるため、各点の標高を比較することができます。

【参考】④

	①	②	③	④	⑤	⑥
名古屋-松本	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
名古屋-舞鶴	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
名古屋-神戸	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア



今回は日本ジオパークの一つ、箱根ジオパークを紹介します。

首都圏から90kmほどの箱根ジオパークは、箱根山を中心とした神奈川県西部の2市3町（小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町、南足柄市）で構成されています。箱根関所もあり古くから栄えてきた地域もあります。

ジオパークとしての特徴としては、なだらかな地形の裾野と急崖のカルデラをつくる外輪山が見られ、多数の成層火山や単成火山、溶岩ドームからなる複合火山であり、それぞれの火山から噴出した溶岩流や火山灰などが、独特の火山地形を造りだしています。



大涌谷

おお わく だに

箱根の有名な観光スポットである大涌谷は箱根火山の最高峰神山の北側にあり、3千年前の大崩壊によって誕生しました。噴気は硫化水素を含み、硫氣荒原の植物群落が見られます。火山性ガスや酸性の土壤に耐えられる植物だけが生育できる環境のため、適応できない植物は枯れてしまうからです。硫氣荒原からいくつもの噴気が上がる光景は、古くから「大地獄」と呼ばれ、奇観地として知られていましたが、1873(明治6)年の天皇行幸を機に「大涌谷」と改名されました。本格的な温泉利用は、箱根温泉供給(株)による供給事業が開始された1933(昭和8)年からのことです。

なお、2015(平成27)年にごく小規模な噴火が発生し一時的に立ち入りが制限され、噴出した火山ガスの影響で周辺の木々は枯れてしまいました。2022(令和4)年3月末からは事前予約制で大涌谷自然研究路にも入れるようになりました。

(<https://hakone.or.jp/od-booking/>)。



仙石原湿原

せん ごく はら

箱根カルデラのなかにある仙石原湿原は、国の天然記念物に指定されている湿原植物群落です。ここにはかつて仙石原湖と呼ばれる湖がありましたが、2.2万年前の神山の噴火により湖が2つに分断され、仙石原側が湿原化して現在の姿となりました。仙石原の名の由来は、源頼朝が「この地を拓けば、千石ほどの米が獲れよう」と言ったという説があります。

この写真は2022年11月上旬に撮影したものですが、2022年3月10日には3年ぶりに「第31回仙石原スキ草原山焼き」が実施されました。新型コロナウイルスの影響で2020年、2021年と中止されていましたが、雑木が育たないように火入れ管理を継続することで、美しいスキ草原が維持されています。一般観光客向けの見学席を設けることもあるので、迫力のある山焼きを体感してみるのもお勧めです。

ニュースレター等に関するお問い合わせは

公益財団法人 国土地理協会 〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3番1号

TEL 03-5210-2181 FAX 03-5210-2184

URL <https://www.kokudo.or.jp>